«いちたかガスワン対談企画»

都市ガス自由化参入を前に発信

LPガス・灯油販売の「いちたかガスワン」は、2016年4月の電力自由化を機に新電力販売に参入しました。2020年3月末現在、北海道内3位となる3万件以上の契約件数を誇りますが、**さっぽろテレビ塔や時計台に同社が電力を供給していること**はあまり知られていません。そこで、2020年4月、北海道で初となる、同社の**都市ガス自由化への参入**に合わせ、知名度アップを図るため紙面企画を掲載しました。

（2020年3月31日 朝刊 全道版 全15段）

同社の佐藤社長と、電力供給先の時計台を支える市民ボランティア「NPO法人さっぽろ時計台の会」の谷会長が、「エネルギーの供給」と「文化財の保護」というそれぞれの立場から、ともに**「地域を支える」ことをキーワードに対談**を行いました。佐藤社長には、**新たな分野への挑戦**と**総合エネルギー企業を目指す企業姿勢**について語ってもらいました。

掲載後に実施した**モニター調査(J-MONITOR調査)では、広告によって「いちたかガスワン」を初めて認識した読者も多く、同社へも広告を見た読者から多数の問い合わせがあり、「新規契約に結び付いた」と評価をいただきました**。

電気に続き、今後、北海道内では都市ガスの小売り事業の本格的な競争が始まります。それぞれの供給企業の特長やサービスを分かりやすく詳しく紹介できるのも新聞広告の大きな特性です。新聞広告を活用したさまざまな企画を提案しますので、ぜひご相談ください。

（本社営業局 前林 信吉）

POINT!

＊**新規事業やサービスを、北海道新聞の記事体広告で分かりやすく詳しく発信することが可能**です。